

わらび

WARABI

市議会 だより

No.214
2021・6

編集

蕨市議会広報広聴委員会
TEL／048-433-7733
FAX／048-432-7991
Eメールアドレス
gikai@city.warabi.saitama.jp



わらびりんごシャーベット



わらびりんごサイダー

目次

令和3年3月定例会・予算の概要	P 2
令和3年度の主な事業内容	P 3
代表質問	P 4
一般質問	P 7
3月定例会の賛否一覧表	P15
政務活動費の公開・編集後記	P16

ご意見をお寄せください



今回の表紙写真は、昨年のわらびりんごが収穫されたときの様子です。わらびりんごは日本一早く実がなるリンゴで、6月下旬から7月初旬にかけて収穫の時期を迎えます。立派に育ったわらびりんごはシャーベットやサイダーなどに加工して販売されています。皆さんもぜひ味わってみてください。

今後の参考のために市議会だよりについての感想やご意見をお聞かせください。



3月定例会

令和3年度予算総額は

488億8184万4000円

(前年度比2.9%増)

3月定例会の概要

令和3年3月定例会は、2月19日から3月23日までの33日間で行われました。

今定例会では、市長から施政方針表明が行われ、代表質問では、6人の議員が施政方針や市政全般について質問を行いました。(4~6ページ参照)

予算決算常任委員会では、令和2年4月に同委員会が設置されてから初めての当初予算案の審査を行いました。総務・環境福祉・経済・教育・まちづくりの3つの分科会において、細部に至るまで審査が行われました。

一般質問では、14人の議員が新型コロナウイルス対策などの市政の重要課題をそれぞれ取り上げ、執行部の見解を問いました。(7~14ページ参照)

採決では、市長提出議案34件を原案のとおり可決・同意・推薦・承認したほか、議員提出議案1件を原案のとおり可決して、閉会となりました。

令和3年度予算の概要

令和3年度の一般会計予算は、前年度比6.7%増で、過去最大となる277億3000万円となりました。

歳人では、新型コロナウイルス感染症の影響などを勘案し、個人市民税は前年度比4億1000万円の減、法人市民税は前年度比2億4000万円の減を見込むなど、市税全体では前年度比6億9000万円減の109億3000万円を見込み、国庫支出金では約2億9600万円増の約53億2900万円などを計上しています。

歳出では、市役所新庁舎の建設費用や市民公園の複合遊具改修工事、塚越陸橋の耐震補強工事委託などの建設関連予算、民間留守家庭児童指導室の増設や子ども家庭総合支援拠点の設置などの子育て関連予算の増額のほか、新型コロナウイルスワクチン接種事業の費用や、ICT教育支援費用などを計上しています。

特別会計は、国民健康保険や錦町土地区画整理事業など、5つの会計からなり、その総額は148億9400万円、病院・水道・下水道の企業会計合計額は62億5784万4000円で、全会計を合わせた蕨市全体の予算規模は488億8184万4000円となりました。

一般・特別会計

会計名	予算額
一般会計予算	277億3,000万円
特別会計	148億9,400万円
国民健康保険	71億1,500万円
錦町土地区画整理事業	14億5,600万円
介護保険	53億7,700万円
後期高齢者医療	9億2,600万円
公共用地先行取得事業	2,000万円

企業会計

会計名	予算科目	予算額
病院事業会計	収益的支出	32億6,672万2,000円
水道事業会計	収益的支出	13億9,141万5,000円
公共下水道事業会計	収益的支出	15億9,970万7,000円
蕨市全体の予算		
一般会計		277億3,000万円
特別会計		148億9,400万円
企業会計		62億5,784万4,000円
合計		488億8,184万4,000円

令和3年度に実施する主な新規・拡充事業

市議会では、令和3年度予算等の内容について、予算決算常任委員会の総務・環境福祉経済・教育まちづくりの3つの分科会において、詳細にわたり審査を行っています。そのうち、令和3年度の主な新規・拡充事業について、審査を行った分科会ごとに紹介いたします。

総務分科会

◆新庁舎建設事業 18億2,770万円

市役所庁舎の建て替えに向けて、今年度は旧庁舎の解体工事を6月中に完了させ、新庁舎建設工事を3か年にわたり実施していきます。

◆防災行政無線の一斉情報伝達サービス 160万円

防災行政無線の内容を希望者にメール、電話、ファックスなどで提供するサービスを実施します。

◆高規格救急自動車の購入 3,518万円

市民の方からいただいた指定寄附を活用し、新たに1台を整備し、合計4台で体制を強化します。

◆Net119緊急通報システムの導入 413万円

聴覚・言語機能に障害のある方が携帯端末を使用し、音声による通報が可能となります。

◆通話録音機能付電話機設置費補助金 50万円

振り込め詐欺被害の防止などのために、防犯機能が充実した固定電話機の購入補助を行います。

◆多文化共生のまちづくりの推進 271万円

市民懇談会からの意見や意識調査の結果などを盛り込み、多文化共生指針を策定します。

環境福祉経済分科会

◆新型コロナワクチン接種事業 4億5,485万円

協力医療機関での個別接種と保健センターでの集団接種を実施します。65歳以上の高齢者の皆さんには、5月に高齢者施設入所の方から開始となり、順次接種を行う予定となります。

◆濃厚接触者以外の新型コロナウイルス検査の実施 153万円

身近な集団に感染者が発生した場合で、県が行政検査の対象外とした方の検査費を市が負担します。

◆電子商品券支給事業 2億6,600万円

全市民に1人3,000円の電子商品券を支給し、全世帯の家計を応援するとともに、消費の活性化を通じて市内の事業者を支援します。

◆手話言語条例周知等リーフレット 165万円

条例の周知と手話の普及、聴覚障害者への理解促進のためのリーフレットを作成して配布します。

◆地域包括支援センター事業 6,313万円

市内3施設目の同センターを塚越地区に開設。

教育まちづくり分科会

◆小学校体育館エアコン設置工事の設計 804万円

小学校2校の設計を行い、中学校3校は主に夏休み期間中に令和2年度補正予算の2億1,500万円を活用してエアコン設置工事を行います。教育環境の質的向上と避難所機能の拡充を図ります。

◆英語技能測定委託料 477万円

中学2・3年生に「読む」「聞く」「書く」「話す」の英語4技能テストやパソコンを活用した外国語学習等を組み合わせたG T E Cを実施し、外国語活用能力の向上を図ります。

◆保護者連絡システム使用料 415万円

欠席連絡等を行うクラウド型システムを導入し、教職員と保護者の利便性向上を図ります。

◆市民公園大型複合遊具の更新 4,630万円

昨年度行った市民参加型のワークショップの意見を踏まえた設計に基づき、大型複合遊具への改修工事を実施します。

◆橋りょう改修工事 1億5,995万円

4か年計画で塚越陸橋の改修と耐震化を行うほか、市内全59橋の橋りょう点検等を行います。

問質代表

代表質問とは

一般会計当初予算案や市政全体にわたり、各会派の代表者1名と、2人以上の会派に所属していない議員がそれぞれの持ち時間で質問する制度です。



令和3年度一般会計予算案の概要と市長の施政方針・主な事業について

総務部長 前年度比増と
なった詳細としては、新
庁舎整備事業や新型コロ
ナウイルスワクチン接種
事業などによるものであ
る。今後の財政見通しは
新型コロナウイルス感染
症の影響など、歳入の減
収は避けられない状況に
ある一方、歳出では、社
会保障関連経費の増など
多額の財源を要すること
が予想され、厳しい状況

パンツリーは2月25日に開催し、当日は生活支援に関する相談も受け付けた。今年度は、社会福祉協議会が継続して開催し、必要な支援を案内する。

市民生活部長 経済対策
は、小規模企業者応援金を2回支給し、小規模企業者新型コロナ対策支援事業、地域活性化・消費者応援事業を実施した。

ように、蕨ならではの教育を進めていくことを期待してその条件整備を進めたい。公共施設等の総合管理については、施設を可能な限り長寿命化し、総量を抑制することが基本方針になるが、長い目で見たときには更新の時期を迎えるわけであり、大きなグランドデザインというものはしっかりと意識して、今後も進めたい。

景気後退で、自治体の財政状況は急速に悪化しており、地方税財政の基盤強化は喫緊の課題となっている。一般会計当初予算の規模が過去最高の277億3000万円となつた詳細と今後の財政見通しについてははどうか

新型コロナウイルス対策のキーワードは、「スピード」「弾力性」「機動力」だと考えるが、生活支援・地域経済活性化対策に関して、どのように取り組むのか。

議員 一層図られるように努める
した教育の充実と、公共
用地・公共施設等の総合
的な管理の方向性につい
てはどう考えているか。
市長 ICT教育にしつ
かりと対応しながら、基
本となる読解力などの国
語力をさらに高められる

予算案の概要について

施政方針に掲げた 主な事業について

ICTの効果的な活用をバランスよく取り入れ、国語力の向上を

令政クラブ
池上智康



が続くと考えている。 講演　自主財源と依存財源の比率及び今後の課題についてはどうか。 総務部長　自主財源が48・7%、依存財源が51・3%。更なる収納対策の強化など、積極的に自主財源の確立を図りたい。

議員 今年度は、電子商品券支給事業の実施を予定し、すべての家計を応援して市内の消費拡大と地域経済の活性化、市内事業者への支援につなげたい。

コロナ禍を乗り越え、命・暮らしを守る「あったか市政」の推進を

議員 感染拡大を防ぐ社会的検査としてのPCR等検査に関する認識と対応はどうか。

キヤンペーン」、「自助」優先の姿勢等、国政の責任が問われる。こうした中で「コロナ禍を乗り越え、未来への飛躍へ」を掲げる施政方針を高く評価。市財政への影響もあるが、事業廃止や市民の負担増等の計画はあるか、主な事業で変更、負担増等の予定はないか、市民優先の判断を議員総務部長が行なう。



設の従事者を対象に集中的に検査を実施している。検査機会の充実について、は、今後も国・県の動向を注視しつつ要望する。

議員 自宅療養中の急変重篤化事例が報じられる市も支援ができるよう県との協議を要望する。新型コロナ対策での市長の見解はどのようか。

市長 今、新型コロナウイルスの影響により、市民の皆さんはかつてなく厳しい状況であり、くらし・健康、市内事業者の営業を守るために、最大限の努力をする。「ワクチン接種は始まつたが、影響の長期化等が懸念される。新型コロナ対策第5弾に取り組むほか、必要な対策は「あつたか市政」の真価を発揮する立場から、その状況に応じて機能的に対応する。

議員 新型コロナの影響で実施できない事業もあつたが、今後必要な対策などの見解は。

市民生活部長 地球温暖化で水害の備えや環境対

策の重要性は高まる。市として防災都市づくりと地球環境にやさしいまちづくりを両立させることが重要である。市民の協力は不可欠であり、啓発に努める。

議員 東日本大震災を風化させず教訓を生かすことが大切。防災について市長の見解は。

市長 市民の安全を守ることは一番大事な自治体の役割である。今年度は災害情報伝達の仕組みを整備する。地域のコミュニケーション力を生かした防災を推進する。

令和3年度の行政運営及び市長の施政方針について

健康福祉部長 3月下旬
にコールセンターを設置する。集団接種の予約受付のほか、接種・医療機関の案内など、定型的な問い合わせに応じるもので、土日祝日を含む、午前9時から午後5時まで、5人体制で実施する。
議員 今後の行事・イベントの実施はどう考えて
いるか。

新型コロナウイルス
対策について

議員

新型コロナウイルスの影響を受けた市民の皆様、飲食店を初め、多くの企業経営者やそこで働く皆様に対しても、救済の措置を講じてきましたが、まだ多くの問題を乗り越えなければならない。ワクチン接種に当たり、コールセンターを設置し、その運用は。

議員 通話録音機能付電話機設置費補助金の内容はどのようなものか。

市民生活部長 高齢者世帯等を対象に、自動で録音を開始するなどの機能を有する固定電話機の購入補助を行うもので、7月頃に申請の募集を行い申請が多数の場合に抽選を実施する予定となつてゐる。

得控除の見直しや新型コロナウイルス感染症の影響により、4億1000万円の減としている。また、法人分は、税制改正により法人税割の税率が3.7%引き下げられたことや感染症の影響による所得の減少などから2億4000万円の減である。

続き、小学校2校において、次年度の工事実施に向け設計を委託するものであり、その内容は中学校と同様に概算工事費や工法、工期などについて設計する。また、今後の設置計画については、設計委託により示される概算工事費などを踏まえ、計画的に実施できるよう努めていく。

やファックス等でも提供する一斉情報伝達サービスの周知を図り、出水期が始まる6月頃までには本格的に運用を始めたい。

市民生活部長 令和3年度予算 市税の見通しについて

防災行政無線について

